

平成28年度 あきたスマートカレッジ (報告)

Bあきた教養講座

B20～23：クオリティ・オブ・ライフ ＜インターナショナル パッケージ＞

会場：秋田県生涯学習センター4階 第1研修室ほか

【趣旨】「今を生きる」「これから生きていく」「豊かな人生」をキーワードに、ジャンルごと3～4コマをパッケージ化した講座です。正しい知識や教養を身につけて“クオリティ・オブ・ライフ”（＝生活や人生の質）について考えるきっかけにしてみませんか？パッケージ単位での受講をおすすめしますが、1コマから受講することもできます。

| 講座記号 | 期 日 | テーマ | 講 師 | 参加者数 |
|------|--------------|---|---|------|
| B20 | 6月11日 (土) | 異国の青年たちに託す思い ～国際ボランティア活動体験を通して～ | JICAシニアボランティアOB 鍼灸治療士 村田 薫 氏 | 9 |
| B21 | 6月25日 (土) | 日本社会とイスラームの出会い ～多神教徒である日本人とイスラームとの対話は可能か～ | 日本赤十字秋田看護大学 非常勤講師 瀬田川 昌裕 氏 | 21 |
| B22 | 7月9日 (土) | 「生活者としての外国人」が 日本語を使って自立できるように… ～やがて地域の担い手として～ | 秋田県外国人相談センター 秋田県地域外国人相談員 藤 嶋 英子 氏 | 15 |
| B23 | 7月23日 (土) | 実践で学ぶ英語教育の変遷 －過去、現在、未来 ～今必要とされている英語能力とは？～ | 国際教養大学国際教養学部 准教授 遠藤 秀 弘 氏 | 16 |
| 合計 | | | | 61名 |

ここでは、4回目の講座について報告します。

遠藤先生は昨年度も当センターで講義していただいた先生です。講義のスタイルはまるで大学の講義のよう。Discussionを含めながらの講義でしたので、会場が活気に満ちあふれました。先生が受講者にタイミングよく問いかけていき、それに答えると必ず肯定的に受け止め、フィードバックしてくださいます。

今回は前半に、日本における英語学習の始まりや英語教育に関する文部法規に触れました。例えば、文化8年(1811年)に英語学習開始当時に使用されたテキスト「諳厄利亞興学小筈（アンゲリアこうがくしょうせん：英語テキストの意）」には、「エレー ユー アン エンギルス メン」という表記があります。「これを英語で表すなら？」と先生が聞きました。それに受講者が「Are you an English man?」と答え、それが正解！ このテキストでは、カタカナ・英語・和訳がともに記されています。昭和33年(1958年)には法的拘束力を持った「中学校学習指導要領」が制定され、各学年の目標が加わりました。ここで、その当時の教科書に書かれた問題に全員で挑戦。学生の頃を思い出したと懐かしんだり、手を挙げて答えたりする方もいて盛り上がりました。後半は、平成21年(2009年)に公示された高等学校学習指導要領で重視されている事項や、現在の学校現場での指導法を教えてくださいました。

先生の熱いお話から、「Discussionを通じて、『子どもに夢をもたせる態度』『グローバル化に対応した教員養成・研修』『現在の制度や仕組みを生かしていく視点』の大切さ」がひしひしと伝わってきました。あっという間の90分間、終わった後には受講者の皆さん全員の表情が晴れやかでした。

